平成20年度まちのバランスシート（平成21年3月31日現在）

※比較している平成19年度の数値は平成20年3月31日現在のものです。

（単位：千円）

借方				貸方			
区分	平成20年度	平成19年度	増減額	区分	平成20年度	平成19年度	増減額
【資産の部】	21,480,626	22,296,514	△ 815,888	【負債の部】	6,388,313	6,600,138	△ 211,825
1．有形固定資産	17,418,342	18,062,712	△ 644,370	1．固定負債	5,768,882	5,963,238	△ 194,356
（うち土地）	2,256,744	2,160,276	96,468	（1）地方債	5,044,019	5,379,891	△ 335,872
（1）総務費	1,495,350	1,452,655	42,695	（2）債務負担行為	0	0	0
（2）民生費	596,272	632,221	△ 35,949	①物件の購入等	0	0	0
（3）衛生費	544,414	589,314	△ 44,900	②債務保証又は損失補償	0	0	0
（4）労働費	0	0	0	（3）退職給与引当金	724,863	583,347	141,516
（5）農林水産業費	4,005,302	4,101,646	△ 96,344	（4）その他	0	0	0
（6）商工費	703,196	745,015	△ 41,819				
（7）土木費	5,670,963	6,022,491	△ 351,528	2．流動負債	619,431	636,900	△ 17,469
（8）消防費	973	1,039	△ 66	（1）翌年度償還予定額	619,431	636,900	△ 17,469
（9）教育費	4,157,384	4,264,690	△ 107,306	（2）翌年度繰上充用金	0	0	0
（10）その他	244,488	253,641	△ 9,153				
2．投資等	2,139,380	2,326,296	△ 186,916				
（1）投資及び出資金	62,434	59,353	3,081				
（2）貸付金	40	40	0	【正味資産の部】	15,092,313	15,696,376	△ 604,063
（3）基金	2,056,848	2,227,696	△ 170,848	1．国庫支出金	2,300,919	2,387,030	△ 86,111
①特定目的基金	1,950,402	2,121,780	△ 171,378				
②土地開発基金	106,446	105,916	530	2．都道府県支出金	1,499,024	1,647,420	△ 148,396
③定額運用基金	0	0	0				
（4）退職手当組合積立金	20,058	39,207	△ 19,149	3．一般財源等	11,292,370	11,661,926	△ 369,556
3．流動資産	1,922,904	1,907,506	15,398				
（1）現金・預金	1,867,746	1,848,750	18,996				
①財政調整基金	747,874	810,648	△ 62,774	町民一人当たりの資産	411万円	420万円	△9万円
②減債基金	911,582	911,181	401	町民一人当たりの負債	122万円	124万円	△2万円
③歳計現金	208,290	126,921	81,369	町民一人当たりの正味資産	288万円	296万円	△8万円
（2）未収金	55,158	58,756	△ 3,598				
①地方税	35,881	42,401	△ 6,520				
②その他	19,277	16,355	2,922				
資産合計	**21,480,626**	**22,296,514**	**△ 815,888**	**負債・正味資産合計**	**21,480,626**	**22,296,514**	**△ 815,888**

21年3月末人口　5,233

平成２０年度バランスシートでみる「まちの台所」

バランスシート（貸借対照表）は、一般的に企業が自らの財政状態を明らかにするため、保有する資産、負債の状況を対比させたものです。

この考え方を町の決算にあてはめたものが町のバランスシートです。

作成の基礎となるもの

バランスシートは、国（総務省）の統一的な基準により作成しています。

基礎となる数値は、昭和４４年度以降に全国の市町村などが、毎年総務省に報告している「決算統計」（地方財政状況調査）をもとに作成したもので、一般会計に基づいています。

本町では、平成１２年度（平成１１年度決算）から作成をしています。

バランスシートのしくみ

バランスシートは、「資産」「負債」「正味資産」から成り立っています。

- ◆ 資産⇒町の持っている土地や建物、預貯金等のこと
- ◆ 負債⇒将来、支払いや返済の必要のあるもの
- ◆ 正味資産⇒「資産」から「負債」を差し引いた残り（後世代に引き継ぐ公有財産の実質的価値）

町の資産は２１５億円

上士幌町の持っている資産は、全部で約２１５億円となり、町民１人あたりに換算すると４１１万円となります。資産のうち有形固定資産は約１７４億円で、前年度と比較して約６億４千万円減少しています。これは、減価償却によるものです。

土木費・教育費・農林水産業費に関する資産は、全体の約８０％を占めています。

土木費関係では道路・住宅が大きな割合を占め、教育費関係では小中学校が大きな割合を占めています。また、農林水産業費関係では、農業生産振興と農業農村整備（土地改良や農道等）などの農業基盤整備が大きな割合を占めています。

本町の総資産は、平成２１年度一般会計当初予算（５８億円）と比較するとおよそ４年分に相当します。

バランスシートから分かること

◇負債は６４億円・正味資産は１５１億円

バランスシートの「資産」は「行政サービスの提供能力」といえます。「資産」が大きいほど行政サービスの質は高いものといえるでしょう。

この「資産」は２１５億円ですが、これを築くために約６４億円の負債（町民１人あたり１２２万円）を抱えていることになります。その残りの１５１億円は正味資産（町民１人あたり２８８万円）ということになります。

しかし、町の有形固定資産というのは、道路や学校といった公共施設であるため、基本的には売却することはできない資産ということになります。また、公共施設が増加することは、年間維持費がかさむこととなります。

負債を極力増やさない、もしくは減らしていく努力が必要であり、また、資産であっても公共施設を増やすことは維持費を考えると慎重に行うことが必要です。

なお、負債は前年度に比較して２億１千万円の減となっています。

また、正味資産の前年度比較では約６億円減少しております。これは、有形固定資産（公共施設等）の減価償却により資産の部が減少したためです。

◇流動資産（換金可能な資産）は１９億円

「流動資産」は約１９億円となっています。これは、いつでも換金が可能な資産であり、金額が多いほど、将来使用できるお金に余裕があり財政状態が良好といえます。

ただし、町税や各種使用料等の未収金があり、これは「不良債権」となる可能性があります。

※バランスシートは、決算数値をもとに町の資産等の状況を表していますが、財政状況がすべてわかるというものではありません。町広報１１月号に掲載しました「平成２０年度まちの台所事情」とあわせて、町の政策や財政状況への理解を深めていただく資料としてご覧ください。